

活用場面

BI

## 自分に適した問題を自分のペースで学ぶ、「待ち」の時間をつくらない終末の活動

活用したソフトや機能：一覧表示機能、GIFU Webラーニング

学年：小学校第5学年 教科：算数

単元名：四角形と三角形の面積

○ 本時について(5/12)

(1)ねらい

- ・三角形を切ったり、くっつけたりする活動を通して、学習した図形に着目し、三角形の面積の求め方について考えたり、説明したりすることができる。

(2)評価規準

- ・既習の長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとにして、三角形の面積の求め方を考え、説明している。

【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 問題場面を把握し学習課題を立てる。 <b>三角形の面積の求め方を考えよう。</b>	・タブレット上で評価問題を行う。 教師は、児童の解答状況を確認し、必要に応じて個別指導を行う。 
展開	2 学習課題について、自分で考える。 ・必要に応じてクラウド上の共有箱にある手掛かりを参考に する。 3 少人数交流で、自分の考えを深める。 4 全体交流で、考え方を確かめ合う。 ・合同な三角形を2つ合わせて、平行四辺形にする。 ・三角形の上半分を移動させて、平行四辺形をつくる。 ・直角三角形に分けて2倍し、長方形をつくる。 5 まとめる。 <b>三角形の面積は、面積の求め方が分かっている長方形 や平行四辺形に形を変えると求めることができる。</b>	
終末	6 練習問題に取り組み、学習内容を定着させる。 ・教科書の鉛筆問題を行う。 できた児童は解答を提出箱に提出して、「GIFU Webラー ニング」に取り組む。	

### 活用の際のワンポイント！

- 個の考えづくりや全体交流時に ICT を活用し、効率よく効果的に行うことで、終末の時間を確保することができます。
- 児童が評価問題の答え合わせを自分で行い自己評価することで、「自分は〇〇をさらにやろう!」と、目的をもってその後の活動を選択し、取り組むことができます。